平成２９年度第３回千葉市資産経営推進委員会議事録

１ 開催日時　平成３０年２月８日（木）１５：００～１６：１５
２ 開催場所　千葉市役所　議会棟　３階　第３委員会室
３ 出 席 者
（１） 委員 （５名）
稲生　信男　委員長　（早稲田大学　社会科学総合学術院　教授）
山本　俊哉　副委員長（明治大学 理工学部建築学科　教授）
倉斗　綾子　委員　（千葉工業大学　創造工学部デザイン科学科　准教授）
小出　修身　委員　（一般財団法人　日本不動産研究所　千葉支所長）
杉田　奈穂　委員　（公募市民）
（２） 事務局 （８名）
宮本資産経営部長、橋本資産経営課長、前田資産経営課長補佐、
資産経営課職員５名

４ 議 題
（１）千葉市公共施設等個別施設計画（案）について
（２）平成２９年度千葉市の資産経営の推進に関する提言について

５ 議事の概要
（１）千葉市公共施設等個別施設計画（案）について
事務局より資料に基づき説明した後、質疑応答が行われた。
（２）平成２９年度千葉市の資産経営の推進に関する提言について
事務局より資料に基づき説明した後、質疑応答が行われた。

６ 会議経過
（１）開会
事務局　開会

（２）議題
議題（１）千葉市公共施設等個別施設計画（案）について
稲生委員長　それでは、最初に議題（１）「千葉市公共施設等個別施設計画（案）について」です。
事務局から説明をお願いします。

橋本資産経営課長　以下の資料に基づき説明。
・資料１　千葉市公共施設等個別施設計画（案）

稲生委員長　説明ありがとうございました。
それでは、ただいまの説明について、ご意見、ご質問等がございましたら、お願いします。

杉田委員　　２ページ「Ⅰ．基本的な考え方　－２－」について、計画的保全対象施設や、施設類型別の対策リストを策定する学校や市営住宅なども、再配置対象施設リストに加わってくるのでしょうか。

前田資産経営課長補佐　　再配置対象施設リストには、具体的な再配置計画が固まっているものを登載します。現段階では、本庁舎、中央区役所の移転、千葉公園体育館の３件が対象となっています。個別の再配置計画がオーソライズされれば、現段階では計画的保全の対象であっても、再配置対象リストに登載されることとなります。

稲生委員長　　２ページ「Ⅰ．基本的な考え方　－２－」のうち「再配置及び計画的保全に係る概算額の集計」についてですが、これはいわゆる通常の維持管理費は含まれず、再配置や計画的保全といった一定の積極的な行為の集計額となるもので、通常の維持管理に係る予算は別途あり、その上にこの概算額がプラスになってくるという理解でよろしいでしょうか。

橋本資産経営課長　　そのとおりです。

倉斗委員　　既に個別施設計画を進めている他の自治体を見ると、計画通りに進んでいない自治体が多いように思われます。計画通りにいかなかった場合は、事業の積み残しが発生すると考えられます。その場合にどのような方針で再検討していくのかなど、計画に記載しておく必要はないのでしょうか。

前田資産経営課長補佐　　計画的保全対象施設リストは、千葉市として３年間で優先的に取り組む具体的事業を記載している実施計画等で方向性が出たものが記載されています。発注や業者の問題等により、若干遅れることはありえますが、基本的に事業の積み残しが発生することはないと考えています。
　なお、３年間の実施計画期間以降については、オーソライズされたものから順次記載し更新していきます。

橋本資産経営課長　　個別施設計画の策定については、各市も悩んでいるようです。政令市の状況を調べてみたのですが、個別施設計画を策定済みとしている政令市は４市あります。ただし、今まで各所管で作成した長寿命化計画を、そのまま個別施設計画として位置づけているものや、資産カルテを代用し、それを個別施設計画としているものが多く、新しく何かを作るという動きには、まだなっていません。

遠藤資産経営課主査　総務省からも取組みの進捗状況を把握するように要請されています。千葉市の個別施設計画では、６ページ「Ⅳ．計画的保全対象施設リスト－２－」において、進捗状況の下段に決算額を入れていきます。例えば、その年度に取り組めなかった場合は０円となり、事業が進んだ場合にはその年度の決算額を記載していくこととなります。

また、５ページ「Ⅳ．計画的保全対象施設リスト　－１－」に記載している通り、取組予定に示した各年度の事業が予定通りに実施されない場合等には、その旨を備考に記録し、進捗管理をしていきます。

稲生委員長　進捗管理を行っていくことは重要です。

例えば、さいたま市では、公共施設マネジメント白書を毎年度更新し、そのなかで、全体と施設類型別の延べ床面積、増減の理由、計画との乖離状況を示し、総量縮減の進捗管理を行っています。併せて、コストの状況なども示すことで、市民からみて非常にわかりやすいものとなっています。

今回の個別施設計画は今後の予定として理解することはできますが、全体の状況を把握することはできません。マネジメントという観点からは、現在のストックの情報を整理するとともに、今後のアクションとして、例えば長寿命化をどのように行っていくのかというフローの計画があり、それらを毎年度更新して状況を示していくと良いのではないでしょうか。

公共施設等総合管理計画と個別施設計画の接着を図っていく意味でも、ストックとフローをうまく組み合わせて情報発信していくことを検討していただきたいと思います。

橋本資産経営課長　資産全体の状況については、個別施設計画ではなく、総合管理計画に記載したいと考えています。来年度は総合管理計画の検証・見直しを行う予定としており、施設分類別の施設マネジメント方針、延べ床面積の縮減目標の設定、目標期間の細分化、目標の進捗管理の方法等について、委員の皆様の意見をいただきながら反映させていきたいと考えています。

前田資産経営課長補佐　千葉市では、白書ではなく資産カルテという形で、平成２５年度から個別施設の状況を毎年度整理・公表しています。データは収集していますので、全体の状況や施設類型別の状況など、委員の皆様の意見を参考に、わかりやすい情報開示の方法を検討していきたいと思います。

倉斗委員　総合管理計画の検証・見直しによって、個別施設計画も連動して修正する必要があると思いますが、どのようにお考えでしょうか。

橋本資産経営課長　ご指摘のとおり、総合管理計画と個別施設計画は整合を図る必要があるため、適宜見直しを行っていきたいと考えています。

遠藤資産経営課主査　　個別施設計画の見直しの考え方については、２ページ「Ⅰ．基本的な考え方　－２－」の６（３）に記載しています。

稲生委員長　　施設数が多いため仕方がないのかもしれませんが、児童福祉・子育て支援施設などの計画策定時期が平成３２年度となっています。平成３０年度に総合管理計画を見直したとしても、平成３２年度までは各論的な議論ができないこととなるため、できる限り早めに策定した方が良いと思います。
　他の自治体でも、２～３年かけて公共建築物の個別施設計画を策定するようなスケジュール感なのでしょうか。

橋本資産経営課長　　施設類型ごとに各所管省庁が策定方針やガイドラインを出しているため、他の自治体でもそれに基づき個別に策定していくなど、千葉市と似た傾向にあると思われます。ただし、延べ床面積で大きな割合を占めている学校教育施設や市営住宅については、平成３０年度までに計画が策定されることから、総合管理計画の見直しに反映させることができると考えています。

稲生委員長　　平成３０年度予算案は既に作成済みかと思いますが、平成３１年度予算から、６ページの「計画保全対象施設リスト　－２－」に金額を織り込んでいくという理解でよろしいでしょうか。

前田資産経営課長補佐　　千葉市の場合、実施計画の期間が３か年ですので、個別施設計画がスタートする時点では、平成３２年度までは確度の高い数字が入っています。ただ、工事費の見積もりなどであるため、実施時期の市況や単価によって金額が変わる可能性はあります。

稲生委員長　　計画的保全の施設については、誰も反対しないと思います。問題なのは再配置となる施設です。今はまだ３施設ですが、資産総量を減らすために、どこまで具体的に再配置対象施設リストを作っていけるかが問われると思います。やはり着手しているものや、確実に実施するもののみが記載されるのでしょうか。

橋本資産経営課長　　基本的に方針決定、政策決定されたものを記載します。再配置は全ての施設を対象とするため、今後学校の統廃合が進んでいけば記載する案件も増えていくものと思われます。

稲生委員長　　公共施設等適正管理推進事業債は、計画的保全施設も対象でしょうか。

橋本資産経営課長　　長寿命化事業の対象となります。

山本副委員長　　個別施設計画の内容は、どう具体化していくかが重要です。特に学校施設が重要であり、個別施設計画を策定する過程で担当部署や関係者とコミュニケーションを取り、個別施設計画を入り口として全体の話を理解していただくことも考えていただければと思います。

稲生委員長　　欠席された委員の方からのご意見は事務局で聞いていますでしょうか。

橋本資産経営課長　　特に意見はございませんでした。

稲生委員長　　他に何かございますか。
特にないようですので、議題１については以上で終了します。

議題（２）平成２９年度千葉市の資産経営の推進に関する提言について

稲生委員長　　それでは、続いて、議題２「平成２９年度千葉市の資産経営の推進に関する提言について」です。事務局から説明をお願いします。

橋本資産経営課長　　以下の資料に基づき説明。
・資料２　平成２９年度千葉市の資産経営の推進に関する提言（案）

稲生委員長　　説明ありがとうございました。
それでは、ただいまの説明について、ご意見、ご質問等がございましたら、お願いします。

山本副委員長　　限られた字数ではありますが、全般的に、もう少し強めに、具体的な言葉を書いていただきたいと思います。
１点目は、総合計画や立地適正化計画と整合を図るとありますが、言うまでもないことであり、課題、目標、戦略を共有し、共通の認識に基づいて重点プロジェクトを推進していくことが重要です。
２点目は、周知方法を工夫し、議会や市民にどのように伝えていくかが重要です。この種の取組みは、長丁場になりますから、小さな成功例を積み上げ、具体的な事例を周知していく必要があります。議会や、関心のある市民に伝わっていくような文言を、もう１～２行書き加えてください。

稲生委員長　　ありがとうございました。ぜひ書き込みをもう一工夫お願いします。
その他、追加した方が良い文言等があればお願いします。

山本副委員長　　ワークショップという言葉を入れてはいかがでしょうか。具体的にどのように運営するかというのは別にして、小さな成功例を、ワークショップを絡めて広めていければと思います。

この委員会に傍聴人として参加したこともある学生が調べたところによると、他の市でも関係部局との調整を行ったうえでワークショップを戦略的に実施しているところがあります。ワークショップのやり方も、市民を巻き込み、事業性を絡めながらやっている例もあります。資産経営課が全てをやるのではなく、市の助成制度などを活用しながら民間の活動を促していくということも考えられます。

稲生委員長　重要な視点だと思います。来年度の予算案は既に策定済みだと思われますが、来年度はワークショップを開催するような費用はもう出ないのでしょうか。

橋本資産経営課長　予算化は今の時点ではできませんが、ワークショップ自体はそこまで経費がかかるようなものではありませんので、規模によっては予算の流用により対応することは可能です。

倉斗委員　外部からファシリテーターは雇わないのですか。

橋本資産経営課長　適任の方がいらっしゃれば検討したいと思います。

稲生委員長　そろそろ定期的にワークショップを実施していくような時期に来ているのではないでしょうか。あまり大規模なものだと続きませんので、小規模のものでかまわないと思います。公共施設マネジメントの取組事例として、千葉市の名前をあまり見かけないのはもったいないと思っています。取組みを浸透させるために、工夫していく必要があるのではないでしょうか。

橋本資産経営課長　先ほど副委員長がおっしゃったように、具体的な事例を示していかないとなかなか分かってもらえないと思いますので、工夫していきたいと思います。

山本副委員長　千葉市としてこれまで取り組んできた事例もありますので、見せていくことが重要です。また、倉斗委員がおっしゃったようにファシリテーターも重要だと思います。１回で終わりではなく、連続して情報を発信していくことが必要です。

宮本資産経営部長　委員の皆様のご意見を伺って、今後は具体的な事例を積極的に発信していく必要があると感じています。地域の方々に必要性を分かってもらえるよう地道に取組みを進めていくことが重要であることを、あらためて認識したところです。

稲生委員長　その他にいかがでしょうか。

小出委員　　２（３）について、サービス対象区ごとにまとめていく、というのは具体的にどのようなことでしょうか。

橋本資産経営課長　　例えば、３事業所を１つの建物として各区に配置していくなど、集約化や機能統合という検討の方向性を示したものです。

稲生委員長　　何を目的にサービス対象区ごとにまとめていくのでしょうか。コスト削減や効率性向上のためでしょうか。

前田資産経営課長補佐　　そのとおりです。類似機能の統合や集約化により、総量の縮減や効率的な資産活用につながるというものです。

稲生委員長　　その点も含めて書いた方が良いと思います。

山本副委員長　　昨年度の提言に用いられていた導入文が、今年度の提言では簡略化されている理由はありますか。

前田資産経営課長補佐　　総合評価に関して例年決まり文句になっていた文言を削除し、より具体的な文言の記述が望ましいとの判断から、文章の配分を変更しました。

山本副委員長　　２（２）についてですが、運営コストにどのようなデータが含まれるのか具体的に書いた方が良いと思います。また、市民だけではなく議会にも理解してもらう必要があることから、「議会」も追加してください。
　また、２（３）の「検討する」をより強い言葉である「推進する」に変更してください。

橋本資産経営課長　　わかりました。そのように修正いたします。

山本副委員長　　３についてですが、特に学校は地域のコミュニティの中心となる施設であることから、全市ではなく一定の地域において、そのエリアが今後どうなっていくのかについて見える化していくべきであるという内容を入れていただきたいと思います。

稲生委員長　　ありがとうございます。他にご意見はありませんか。
　それでは、大筋では、皆様ご了承ということでよろしいでしょうか。

（委員了承）

稲生委員長　　それでは、ただいま委員の皆様からいただいたご意見については、事務局で対応してください。

なお、この委員会後でも、文言等についてご意見がある場合には、２月１５日木曜日までに、事務局へメール等で提出していただければと思います。終了後にいただいたご意見については、事務局で取りまとめたうえ、最終的な提言の追加・修正についての確認は私に一任いただいてもよろしいでしょうか。

（委員了承）

稲生委員長　それでは、皆様のご了承をいただきましたので、修正案については私が確認を行い、最終確定とさせていただきます。確定次第、皆様にお知らせするとともに、千葉市へ提出いたします。

それでは、議題２については以上で終了します。

（３）その他

稲生委員長　最後に、「その他」ですが、何かありますか。

橋本資産経営課長　今年度ご審議いただきました資産の総合評価につきましては、年度末に確定後、公表となります。また、千葉市公共施設等個別施設計画につきましては、本日のご意見を踏まえて修正等を行い、公表いたします。その際には、皆様にお知らせいたしますので、よろしくお願いいたします。

今年度も委員の皆様から多くのご意見をいただきながら、資産の総合評価の実施や、千葉市公共施設等個別施設計画に関する審議などを進めることができたと思います。１年間ご審議いただきありがとうございました。

なお、委員の任期は、今年の７月３１日までとなっております。学識経験者の委員の皆様につきましては、引き続き委員をお願いさせていただきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

また、公募委員につきましては、新年度にあらためて募集する予定です。杉田委員、それから本日はご欠席ですが清水委員におかれましては、３年間にわたり、市民の立場から大変貴重なご意見をいただきました。本当にありがとうございました。

新年度の委員会につきましては、あらためてご連絡させていただきますので、よろしくお願いいたします。事務局からは以上です。

宮本資産経営部長　閉会にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

稲生委員長をはじめ、各委員の皆様におかれましては、この１年間、当委員会でご審議いただきましたことについて、あらためてお礼を申し上げます。

当委員会は、資産経営システムの運用を開始した平成２５年４月に設置され、資産の総合評価や、各種計画の策定などについてご審議いただいてきたところです。

資産の総合評価につきましては、今年度までの５年間で、評価を一通り終えたということになります。評価にあたっては、委員の皆様にご意見をいただきながら、考え方や評価基準などを整理し、評価結果としてまとめることができました。

今後は、この評価結果を元に、施設の再配置や総量縮減などを進めていきたいと考えています。

また、この間、「公共施設見直し方針」、「公共施設等総合管理計画」、「公共施設再配置推進指針」、さらに、今年度は「公共施設等個別施設計画」の策定についてご審議いただきました。あらためまして委員の皆様にはお礼を申し上げます。

来年度は、総合管理計画の見直し、評価対象施設のモニタリングを実施したいと考えております。

今後とも本市の資産経営の取組みに対しまして、ご理解ご協力をお願い申し上げます。簡単ではございますが、閉会にあたりまして御礼の言葉とさせていただきます。ありがとうございました。

稲生委員長　私からも一言挨拶を申し上げます。

この資産経営とは手間がかかる割に不人気な政策でありまして、特に施設の統廃合などに際しては、関係するコミュニティの方々から反対されるなど厳しいものです。各地で取組みが本格化してからしばらくはマスコミにも取り上げられたのですが、最近は報道も少なくなってきています。

しかしながら、老朽化は着実に進展しており、嫌でも続けなくてはいけないという政策の代表例だと考えています。来年度、総合管理計画の見直しがありますが、次のステップからが本当に厳しいものとなります。資産の評価だけであれば粛々と実施すれば良いのですが、これからは実際にどうするのかを計画に落とし込み実行していく、いわゆるアクションプランの段階となります。

皆様で、より一層知恵を絞って汗をかいていかなくてはいけません。来年度、学識経験者の皆様には、ぜひ引き続きご協力を賜りたいと思いますし、市民の皆様にも多方面からご支援を賜ればと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、本日はこれで終了いたします。

皆様、ありがとうございました。